

滋賀県がん診療連携協議会・第8回地域連携部会議事概要

日時 平成23年7月8日(金)午後2時~午後4時
場所 大津赤十字病院 外来棟6階会議室
出席者 各部会員

1. 経過報告と今後の予定について

各医療圏から取り組み状況の報告がされた。

大津・湖西医療圏(大津赤十字病院より報告)

取り組み状況

- 平成23年5月29日 「市民のためのがん講座」
大津市民対象 98人参加 山中晃先生・越山雅文先生
- 平成23年3月4日 第4回大津・湖西地域がん診療連携協議会幹事会
- 平成23年3月25日 第2回大津・湖西地域がん診療連携協議会
施設基準届出について

大津市：6病院・76診療所 高島市：3病院・16診療所

5大がん地域連携パス運用件数

大津湖西地域 合計11件(7月8日現在)

胃がん：8件	大腸がん：2件	肺がん：1件
--------	---------	--------

(内) 大津赤十字病院：胃がん7件・大腸がん2件・肺がん1件

大津市民病院：胃がん1件

「私のカルテ」の大津赤十字病院版パンフレットの作成について

- 3月に院内および大津市医師会(パスを運用された連携先医療機関)、
大津市薬剤師会(処方箋薬局)に配布

今後の取り組み予定

- 大津・湖西地域がん診療連携協議会 地域連携パス研修会開催予定
- 院内掲示用「私のカルテ」ポスターを作成予定

甲賀医療圏(公立甲賀病院より報告)

取り組み状況

- H23.5.28(土) 於；水口センチュリーホテル

滋賀県薬剤師会甲賀湖南支部定例会 集合研修開催

テーマ；「地域連携クリニカルパスを柱とした甲賀医療圏がん診療ネットワークの現状と未来」

講師；公立甲賀病院 外科部長 瀬戸山 博 対象者；薬剤師

- ・ H23.6.1 (水) 於 ; 公立甲賀病院
 第 1 回がん患者サロン「ゆかい(癒会)・こうが」開催
 サロン開設記念講演会開催(公立甲賀病院がん相談支援チーム主催地域公開事業)
 テーマ ; 「がんと免疫療法」 講師 ; 公立甲賀病院 副院長 沖野 孝
 対象者 ; がん患者さんおよびそのご家族
- ・ H23.6.18 (土) 於 ; 甲賀市共同福祉施設 サントピア水口
 第 3 回市民公開講座(甲賀医療圏がん診療ネットワーク研究会主催)
 テーマ ; 「大腸がんで悩まないために」
 講師 ; 国立病院機構大阪医療センター 外科医長 三嶋 秀行 先生
 対象 ; 一般市民、医療福祉関係者
- ・ H23.6.18 (土) 於 ; 甲賀市共同福祉施設 サントピア水口
 第 3 回甲賀医療圏がん診療ネットワーク研究会
 テーマ ; 1 . 「進行再発大腸癌領域におけるトポテシン注の現状と今後」
 2 . パネルディスカッション
 「甲賀医療圏におけるがん診療連携の現状と未来」
 総合司会 公立甲賀病院 外科部長 瀬戸山博
 対象 ; 医師、がん診療連携関係者、医療関係者
- ・ H23.6.22 (水) 於 ; 公立甲賀病院
 第 1 回がん化学療法研修会(公立甲賀病院がん化学療法チーム主催地域公開事業)
 テーマ ; 「制吐剤(副作用対策)について」講師 ; 公立甲賀病院 がん薬物療法認定薬剤師 原口 久義 対象者 ; 看護師、医療従事者
- ・ H 23.6.29 (水) 於 ; 公立甲賀病院
 第 2 回緩和ケア看護研修会(公立甲賀病院緩和ケアチーム主催地域公開事業)
 テーマ ; 「倦怠感について」 講師 ; 公立甲賀病院 看護師 柴田 紀子
 対象者 ; 看護師
- ・ H23.7.6 (水) 於 ; 公立甲賀病院
 第 2 回がん患者サロン「ゆかい(癒会)・こうが」開催
- ・ H23.7.7 (木) 於 ; 公立甲賀病院
 第 1 回緩和ケア研修会(公立甲賀病院緩和ケアチーム主催地域公開事業)
 テーマ ; 「オピオイドの正しい使い方について」～フェンタニール製剤について～
 講師 ; 製薬会社学術員 対象者 ; 医師、看護師、薬剤師、医療従事者
 【連携保険医療機関】 病院 : 2 ヶ所 診療所 : 21 ヶ所
 【県下統一がんパス運用状況】 胃がん : 4 件 大腸がん : 7 件

東近江医療圏(滋賀医科大学病院より報告)

取り組み状況

- ・平成 23 年 3 月 17 日
地域がん診療連携支援病院である近江八幡市立総合医療センター及び東近江保健所と地域連携パスの運用について打合せを行う。又、東近江保健医療圏での医療提供体制の再調査とその結果による地域連携パスの活用等についても打合せを行う。
- ・平成 23 年 4 月
東近江保健医療圏における「がん治療連携計画策定料の施設基準に係る届出」が近畿厚生局滋賀事務所に受理される。連携保険医療機関は 35 機関(がん種は胃がん、大腸がん)。
- ・平成 23 年 5 月
地域がん診療連携支援病院(近江八幡市立総合医療センター)における連携保険医療機関は 36 機関。
滋賀医大より 5 月分「5 大がん地域連携パス」の報告書(大腸がん 1 例 算定なし)を提出する。
- ・平成 23 年 6 月
大津保健医療圏における「がん診療連携指導料」に関するアンケートを大津市医師会を通じて行う。他の医療圏についても本院より逆紹介を行っている医院等に同様のアンケートを実施する。
- ・平成 23 年 7 月
滋賀医大より 6 月分「5 大がん地域連携パス」の報告書(大腸がん 3 例 算定なし)を提出する。

7 月 1 日現在施設基準届出済み連携保険医療機関(56 機関)

担当病院	胃がん	大腸がん	肺がん	肝がん	乳がん	備考
滋賀医大	54	55	17	20	17	

湖東医療圏(彦根市立病院より報告)

- ・現在のパス運用実数

医療圏名	担当病院	胃がん	大腸がん	肺がん	肝がん	乳がん
湖東医療圏	彦根市立病院	1	1	0	0	0

- ・施設基準届出済の連携医療機関

医療圏名	担当病院	胃がん	大腸がん	肺がん	肝がん	乳がん
湖東医療圏	彦根市立病院	16	16	13	15	10

取組状況

- 平成 23 年 2 月 5 大がん地域連携パス連携医療機関（16 施設）へ訪問
 国立がん研究センターより送付された「がんになったら手にとるガイド（見本）」を 2～5 冊とその案内文書を配布。数人のドクターとお会いでき、情報交換を行う。
- 平成 23 年 3 月
 「平成 22 年度第 3 回彦根市立病院がん診療連携会議」にて院内 Dr にパスの運用を促し、現状での問題点を討議する。地域連携クリニカルパス（大腸癌）運用開始
- 平成 23 年 5 月
 5 大がん地域連携パス連携医療機関（16 施設）へ訪問 国立がん研究センターより送付された「患者必携 患者さんのしおり」と「がんになったら手にとるガイド（案内）」を 30～50 部とその案内文書を配布。
 新規医療機関の開拓（2 施設） “滋賀県 5 大がん地域連携クリニカルパス マニュアル” を用いて新規医療機関 2 施設へ説明。
- 平成 23 年 6 月
 彦根市福祉保健センター、彦根市健康推進課がん検診担当者とネットワーク構築のための情報交換を行う。

今後の課題

- 彦根市保健所、医師会、地域連携医療機関へ定期訪問し、ネットワーク強化に努める。
- 院内スタッフや患者への理解が得られるよう研修会等を企画し、更に周知していく。

湖北医療圏(市立長浜病院より報告)

ネットワークの整備

施設基準届出済医療機関（手術担当病院と連携先医療機関）

医療機関	連携先	胃がん	大腸がん	肺がん	肝がん	乳がん
市立長浜病院	41	39	37	33	35	22
長浜赤十字病院	37	34	32	29	30	17

H23.6.30 現在 (H23.7.1～認定予定含)

湖北病院はパス運用について具体的な活動はされていません。

地域連携パス運用状況

手術担当病院	合計	胃がん	大腸がん	肺がん	肝がん	乳がん
市立長浜病院	18	7	8	0	1	2
(がん治療連携計画策定料算定)	9	(4)	(4)	(0)	(0)	(1)
長浜赤十字病院	12	9	3	0	0	0
(がん治療連携計画策定料算定)	4	(3)	(1)	(0)	(0)	(0)

長浜市立湖北病院	0	0	0	0	0	0
(がん治療連携計画策定料算定)	0	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

注 1) 長浜赤十字病院の大腸がんは 1 件は術後 2 年の適用

H23.6.30 現在

取組み状況

H23.3 パス内容(運用)の変更について連携医療機関へお知らせ

H23.4 [院内]導入時患者説明用パンフレット作成(部会統一版作成までの仮運用)

H23.5.31 [院内]病棟責任者とのパス運用見直し協議

H23.6.9 [院内]外来看護師とパス運用見直し協議

H23.6 [院内]運用フロー改訂

湖南医療圏(滋賀県立成人病センターより報告)

取組み状況

- ・ H23.3 滋賀県 5 大がん地域連携パス研修会への参加

地域連携パスの運用状況(平成 23 年 6 月末現在)

30 例(胃がん 13、大腸がん 16、肝がん 1)

連携先医療機関 25 病院(診療所)

今後の課題

- ・ 連携医療機関の拡大およびパスへの理解の促進
- ・ 地域医師会等との連携

今後の取り組み

- ・ 地域連携パス運用院内マニュアルの調整
- ・ 地域ネットワークの構築

がんの地域ネットワークの構築等の取組状況

1. 湖南圏域がん診療連携協議会の設立(平成 23 年 3 月 18 日第 1 回協議会開催)

<所掌事項>

がん診療等に関する情報交換に関すること

がんの地域連携クリニカルパスの普及および運用等に関すること

がん診療連携の推進に関すること

<スケジュール>

平成 23 年 9 月～10 月頃 第 1 回協議会開催

平成 24 年 3 月頃 第 2 回協議会開催

2. がん診療検討部会の設置

<所掌事項>

湖南がん診療ネットワークミーティングの開催に関すること

その他がんの地域連携クリニカルパスに関すること

<スケジュール>

第1回部会 平成23年7月4日(月)

- ・ 湖南圏域におけるパスの運用状況について
- ・ 第1回湖南がん診療ネットワークミーティングの開催について

開催時期 平成23年9月

場 所 県立成人病センター

内 容 講演、意見交換等(調整中)

第2回部会 平成23年9月~10月頃

- ・ 第2回湖南がん診療ネットワークミーティングの開催について

開催時期 平成23年11月頃

場 所 済生会滋賀県病院

内 容 未定

第3回部会 平成23年12月頃

- ・ 第3回湖南がん診療ネットワークミーティングの開催について

開催時期 平成24年1月頃

場 所 草津総合病院

内 容 未定

2. 「滋賀県5大がん地域連携パス作成作業部会」報告

滋賀県5大がん地域連携パス進捗状況について

- ・ 7月8日現在、滋賀県内で胃がん42件・大腸がん37件・肺がん1件・肝がん2件・乳がん2件合計84件が運用中であることが大野部会長より報告された。

滋賀県5大がん地域連携パスQ&A

- ・ 滋賀医科大学病院から近江八幡市立総合医療センターからの質問について部会員に問いかけがあった。

(Q A No.29) がん拠点病院(支援病院)各病院においてパスの説明者の職種(看護師などの)について教えてください。パス職別で担当制などの独自の工夫などされていますか。

- ・ 医師・看護師・地域医療連携課等の担当者間で情報の共有をしていれば説明者を特定する必要はないのではないかと。
- ・ 地域によっては地域連携の専任者を採用している施設もある。
- ・ 本来なら、医師が主導で進めていければよいが、負担が大きいため軽減する形で(滋賀医大では)患者支援センター・医療サービスの看護師が説明を行っている。
- ・ パスコーディネーターを育成すればよい。
- ・ 守秘義務を守る意味でも医療者がパスの説明を行うのがベストである。

滋賀県5大がん進行期胃がん・大腸がん地域連携パス作成取組みの発表(案)

- 進行期胃がん地域連携パス(案)については公立甲賀病院瀬戸山博医師より報告、進行期大腸がん地域連携パス(案)については大津赤十字病院吉川明医師より報告された。

進行期大腸がん地域連携パスの目的は、早期がん患者さんだけでなく進行期がん患者さんにも地域連携パスを広めていきたい趣旨で取り組んできた。3種類作成したがパターンとしては二つある。一つ目は大腸補助化学療法を手術担当病院で施しその後、連携医療機関と連携し治療にあたる地域連携パスである。二つ目は連携医療機関の先生のもとで化学療法ができる無理のない地域連携パスを作成した。いずれが良いのか皆さんに検討いただきたい。

進行期胃がん地域連携パスは原案がバージョン4となった。

治療方針適応型分化パスとし、これは術後補助化学療法の施行・非施行によりまた、施行期間中における化学療法有害事象の発現に応じたパスの移行が可能となる構成とした。具体的には、術後補助化学療法を付加しない場合、「進行胃がん術後経過観察パス」(仮称)を用いる。術後補助化学療法を付加する場合、「術後補助化学療法症例パス」(仮称)を用いる。術後補助化学療法症例パスは「化学療法パス」(仮称)と「化学療法終了後経過観察パス」(仮称)からなる。化学療法パスは「S-1:4投2休パス」(仮称)と「S-1:2投1休パス」(仮称)からなる。両者間の移行は計画策定病院担当医の判断により決定するものとする。化学療法終了後経過観察パスは「進行胃がん術後経過観察パス」と内容・構成を同一にする。

- 進行期胃がん大腸がん地域連携パス(案)については地域連携部会で承認を得た。以後、進行期胃がん大腸がん地域連携パス(案)をホームページにアップロードし、拠点病院・支援病院の外科医師、呼吸器外科医師へ文書をお送りし、2か月にわたり意見をいただき、意見を事務局の方で集約する方向で進む。広く関係者からご意見をいただき、より良いものに完成させていく。(大野部会長)

滋賀県5大がん肝がん(内科系) 肺がん(見直し)地域連携パス作成取組み状況について

肝がん地域連携パスの内科的要素を取り込んだものを現在検討中(見直し中)である。担当は、滋賀医科大学付属病院消化器科の西村先生にお願いしている。経過報告については次回の作業部会で報告いただく。

(彦根市立病院林栄一医師より以下報告された。)肺がん地域連携パスの見直しに取り掛かっているが、提案として、術後補助化学療法有りのもの・無しのもの両方で作成した。パスを使用する側が使いやすいよう修正を行った。私のカルテ内の「咳・痰」の記述を「咳・痰が増えた」に修正した方が使う側として分かりやすい。

今後、作業部会で意見を出し合い更に完成度をあげていきたい。

3. 滋賀県がん診療連携協議会「私のカルテ」パンフレットについて

滋賀県がん診療連携協議会ポスター・パンフレット作成について

- ・ポスターは非常に分かりやすいが、診療所内で掲示する場所を確保する事が非常に困難である。(滋賀県医師会越智眞一医師)
- ・製薬メーカーにポスター作りに賛同していただく事は可能かどうか。(大野部会長) 県としては問題ない。(滋賀県角野文彦医師)
- ・進行期胃がん大腸がん地域連携パスの作成と同時に、再発がんの患者さん用のポスターやパンフレットを緩和医療とすり合わせながら作業部会で検討していきたい。(大野部会長)

4. 各拠点病院から大津赤十字病院 HP へのリンクについて

現在、大津赤十字病院からのみ 5 大がん地域連携パスを参照できるが、拠点病院・支援病院どこからでも参照できるようホームページのリンクをはる事が可能かどうか。(大野部会長) 可能とする。(部会員承認)

5. 当面の取り組みについて

(1) 第 15 回 5 大がん地域連携パス作成作業部会

2011 年 8 月 18 日(木)17:00~ 於: 大津赤十字病院 6 階会議室

(2) 第 9 回 滋賀県がん診療連携協議会 地域連携部会

2011 年 9 月 日()日時未定 於: 大津赤十字病院

(3) 第 5 回 滋賀県がん診療連携協議会 地域連携パス研修会

2011 年 11 月 5 日(土)時間未定 於: 公立甲賀病院

(甲賀医療圏のネットワーク研究会と同時開催予定)

第 6 回 滋賀県がん診療連携協議会 地域連携パス研修会開催について

ては 2012 年 3 月頃の予定(於: 滋賀県立成人病センターにて開催予定)

尚、会議の日程については部会員・作業部会員に日時を確認のうえ、開催日を決定する事とする。

以上